

脳神経外科

【概要】

豊見城中央病院は那覇空港からもっとも近い総合病院として、その立地条件の良さから、たくさんの症例が集まってきます。

脳神経外科では、痛くない怖くない脳卒中治療を目指しています。

【研修内容と特徴】

【脳神経外科専門医を目指す医師】

当院では救急医療にも力を入れており、脳神経外科では脳卒中全般、頭部外傷、脳腫瘍、その他中枢神経疾患を幅広く経験することが可能です。

脳卒中の治療の中で、脳血管内治療という分野が注目されています。この脳血管内治療の特徴はなんとといっても、脳卒中という恐ろしい病気を、痛みを少なく、さらに体への負担を軽く治療できるということです。

脳神経外科ではこの脳血管内治療に力を入れております。最高クラスの脳血管内治療設備が整っており、さらに脳血管内治療を迅速かつ確実に施行できるよう訓練された沢山のスタッフがいます。

2016年度は126件の脳血管内治療(病院ホームページの別ページを参照)を行いました。

この件数は全国でもトップクラスです。

常勤3名の脳神経外科専門医(そのうち2名は脳卒中専門医、2名は脳神経血管内治療専門医、1名は脳神経血管内治療指導医)と非常勤2名の脳神経外科専門医の指導のもとで、あらゆる脳神経外科疾患に対する治療経験を積むことができます。

豊見城中央病院脳神経外科は、帝京大学医学部脳神経外科を基幹病院とした全国に関連施設(別表)を数多く有しており、これらの病院で研修することも可能です。

さらに希望者は、臨床研修プログラムに参加しつつ、帝京大学大学院への入学、学位取得(博士号)を目指すことも可能です。

4年間の後期研修終了後、つまり医学部卒業後7年目の8月に日本脳神経外科学会専門医試験が受験できます。

【受験可能な認定医】

日本神経内視鏡学会技術認定医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本脳卒中学会認定専門医、日本頭痛学会専門医

【脳神経血管内治療専門医を目指す医師】

当科は一般脳神経外科治療に加えて、脳血管内治療も積極的に行っています。

病院ホームページでも示す通り、県内でも有数の症例数を経験することができ、脳神経血管内治療学会指導医が在籍しております。

脳神経血管内治療学会指導医の指導のもと、プログラムでは、脳血管内治療に携わった経験がまったくない場合でも約 1 年間の研修で脳神経血管内治療専門医試験の受験資格が得られるようになります。(注:脳神経血管内治療専門医試験を受験するためには脳神経外科専門医または関連科の専門医資格を取得していることが必要です)

【特記事項】

基幹施設
帝京大学医学部附属病院
連携施設（研修施設）
帝京大学ちば総合医療センター、帝京大学医学部附属溝口病院、帝京大学医学部附属病院救命救急センター、脳神経センター大田記念病院、医療法人社団城警会新東京病院、医療法人熊谷総合病院
関連施設
友愛会豊見城中央病院、社会医療法人札幌鎮心会病院、網走脳神経外科・リハビリテーション病院、社会医療法人明生会道東脳神経外科病院、新松戸中央総合病院、医療法人社団城高会おおたかの森病院、国立成育医療研究センター、鎌倉光が丘病院、ふれあい豊見ホスピタル、白鬚橋病院脳神経外科、世田谷記念病院、東京大学医学部附属病院、埼玉医科大学病院、三井記念病院、JR東京総合病院、JCHO 東京新宿メディカルセンター、東京都健康長寿医療センター

【お問い合わせ】

社会医療法人 友愛会

豊見城中央病院

臨床研修支援室 担当:川平

TEL:098-850-3811 FAX:098-850-3810
